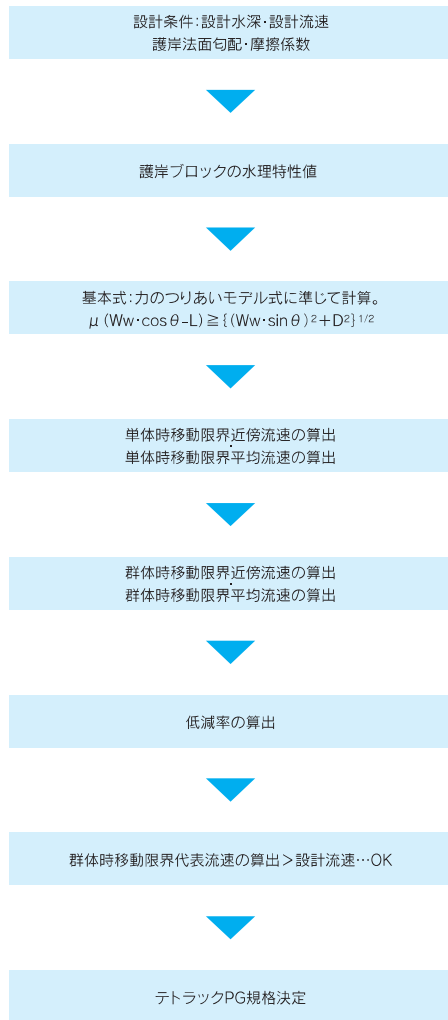


## テトラックPGの力学的安定性照査

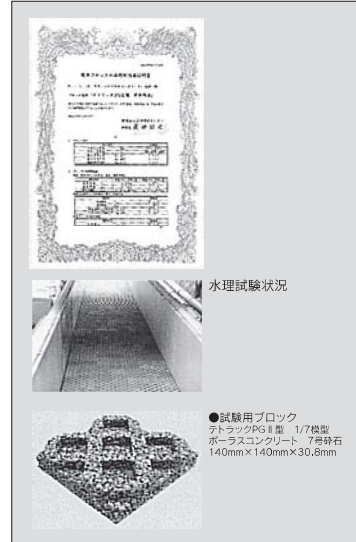
### 1. 検討方法について

「護岸の力学設計法」[(財)国土開発技術センター]及び「護岸ブロックの水力特性値試験報告書」[(財)土木研究センター]に基づき行います。必要ブロック規格は、「滑動-群体」モデル及び「めくれ」モデルにより安定性の照査を行い決定します。尚、「めくれ」による照査は、上流端部に既設法覆工や小口止め等を施工しない場合にのみ行います。

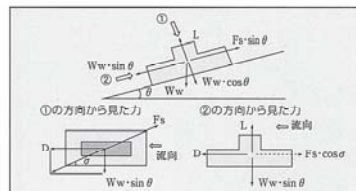
### 2. ブロック選定の照査の流れ



■護岸ブロックの水力特性値証明書(観性証第0096号)



■力のつりあいモデル図

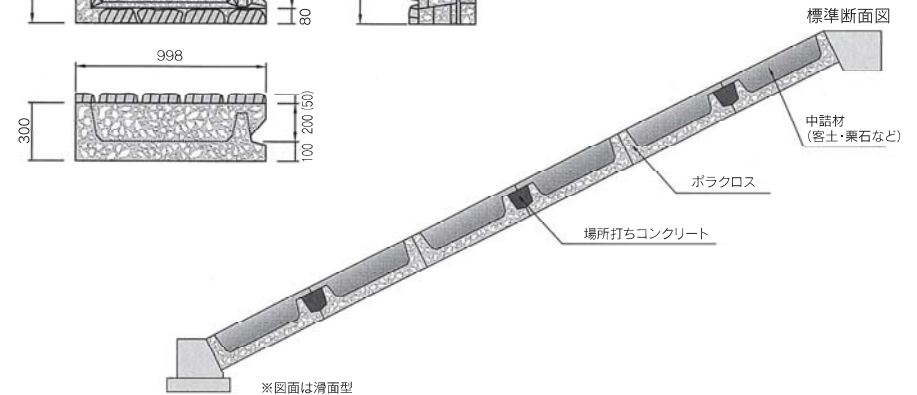
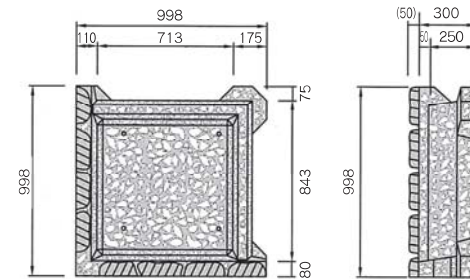


# ポラクロス

## 特長・ポイント

- ブロック4個を組み合わせて設置し、1枠(4㎡)の大きな柵状のブロックを形成します。
- 場所打ちコンクリートを併用するため、完全一体化が可能です。またカーブ部への対応も容易です。
- 中詰材の使い分けや緑化工法の採用により、目的や条件に応じた壁体が創造できます。

製品図 ※滑面型は斜線を除く



## 規格諸元

項目	単位	ポラクロス	
		擬石型	擬石型
外形寸法	mm	998×998×厚300(350)	998×998×厚300
製品体積	m <sup>3</sup>	0.147	0.142
参考重量	kg	280	270
㎡当り使用個数	個/m <sup>2</sup>	1.0	1.0
場所打ちコンクリート打設量	m <sup>3</sup>	0.036	0.036
中詰材投入量	m <sup>3</sup>	0.122	0.122

●ブロック重量は強度・空隙率の適用範囲内で変動します。